

研究室彙報

哲學研究室

哲學會

眞宗學研究室

眞宗學會

五月四日 金 例會を開く

三々法門と選擇本願

參會者加藤松原兩教授、已下學生三十八名

五月十日 木 午後三時より第一教室に於て眞宗學會

總會を兼ねて河野學長及び新入會員歡迎會を開く。

參會者 河野學長、本田主、大須賀、加藤、安井、

柏原、松原教授、其他學生四十名

佛教學研究室

聖典語學會

五月五日(土) 例會開催

分別論所説の法心分別に就いて

印度古代劇の用語に就いて

五月二十三日(水) 例會開催

漢譯佛典の正讀に就いて

聖典語學と其の應用

大乘佛教學會

二月十五日(木) 例會開催

龍樹の戒律觀

研究室彙報

五月十九日午後七時半より東洋亭に於て哲學會(合同)創立懇談會を開く、出席者三十一名。盛會裡に十時半散會す。

當日決定の規約左の如し。

大谷大學哲學會規約

第一條 本會ハ大谷大學哲學會ト稱シ本部ヲ大谷大學哲學研究室內ニ置ク

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究ヲナシ會員相互ノ研究上ノ連絡ヲハカルヲ以テ目的トス

第三條 本會員ヲ分チテ正會員及客員トス
正會員ハ大谷大學哲學研究室關係ノ教職員及び研究

科學部學生ヲ以テ之ヲ組織ス
客員ハ同關係ノ舊教職員卒業生及本會ノ趣旨ニ賛同

スル者ヲ以テ之ヲ組織ス
第四條 本會ハ年三回定期學會ヲ年一回以上特別學會

ヲ開ク
第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長 一名

一、理事 若干名

一、委員 五名

一、役員ノ職責左ノ如シ

第六條 會長ハ本會ヲ代表シ總理ス

一、理事ハ會長ヲ補佐ス

一、會長ハ本會ヲ代表シ總理ス

一、委員ハ本會ニ關スル諸般ノ事項ヲ評議シ處理
第七條 本規約ハ役員ノ決議ニヨリテ變更スルコトヲ得

宗教學會

五月十六日 午後七時より座談會を開催し、本會今後の研究方針に就き種々協議し、特にその事業の一つとして諸種の宗教儀式の見學を行ふ事を議定す。尙ほ當日の出席者は阿部、日野、横川の諸教授並に學生六名。(坂本記)

人文學第一研究室

國史研究會

第五回史跡踏査會 昭和九年三月

大德寺—眞珠庵、大仙院、孤蓬庵の庭園
今宮神社の石佛。光悅寺等を觀る。

德重教授指導、木村氏學生二十五名出席。

五月五日 栗野教授、新會員歡迎會

太秦廣隆寺の踏査を行ひ、後出町スター食堂にて會食す、九時散會。

出席者 栗野、德重教授、宮田、木村氏以下學生十六名なり。

五月十二日 宇治方面の金石文踏査に出行す。

栗野教授指導、學生十五名出席。

五月十九日 大德寺總見院の鐘、西向寺を見學す。

栗野教授指導、學生二十名出席。
第一回史跡踏査旅行

五月廿日午前七時京都驛發、十二時頃高野山に着、山内の踏査を行ひ午後十時頃上市に着し一泊す。廿一日午前九時出發、吉野山に向ふ十二時頃着山内にて中食後直に山内の踏査を行ふ。八時頃京都着。出席者 德重教授、栗野教授、宮田以下學生九名。

人文學第二研究室

東洋史學會

二月一日 午後三時 於第拾壹教室

例會催 左の研究發表あり。

南詔王國の對外政策(特に唐との關係)

三回生 室 武雄君

王莽の社會政策

同 鶴見 了君

例會後卒業生送別會を開く。

二月廿八日 午後三時 於應接室

例會開催 左の研究發表あり。

遼朝の漢文明に對する態度

三回生 江村 信稱君

會昌の法難

同 山崎 博榮君

五月二日 午後七時 松浦教授送別會並に新入生歡迎會を千也に於いて行ふ。